

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)9222
担当部課名	保健福祉部	地域福祉	課	福祉推進 班
事務事業名	行事等災害見舞金		事業コード	11110

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	福祉文化の創造とバリアフリーの推進	~63 年度
施策名	第1施策	総合的な福祉施策の推進	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市行事等災害見舞金要綱

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
市が主催し、若しくは共催する行事等、又は市が所有し、若しくは管理する公共施設において発生した事故により災害を受けた者に対して、見舞金を贈呈するもの。		行事参加者、施設利用者等	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
(見舞金の額) ・死亡見舞金50万円 ・傷害見舞金5千円~10万(1~6等級) (見舞金支給実績) ・件数 66件(傷害見舞金のみ) ・金額53万円			
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

## 4 評価指標

指標名	見舞金支給率	見舞金対象災害の発生状況	
指標式	各年度の見舞金支給額 / 100万円 × 100	各年度の見舞金支給件数	
指標設定の意図	見舞金の性格上、数値目標はないため、見舞金の予算に対する支給率により活動指標とする。	各年度の見舞金支給件数により、見舞金対象災害の発生状況の指標とする。	

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	58	85	a 53	b 100	100	
指標	71	54	c 66	d 97	97	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	575	850	530	1,000	1,000
	人員・時間数	1人・142時間	1人・108時間	1人・132時間	1人・194時間	1人・194時間
	人件費	594	452	552	812	812
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	1,169	1,302	1,082	1,812	1,812
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 C ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 60.5%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{53.0}{100.0} \times 100 = 53.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{66.0}{97.0} \times 100 = 68.0\%$
理由:	見舞金の性格上、目標の達成度を見ることはできない。このため、予算に対する支給率や発生件数により、活動の指標とした。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	災害を受けた者に対し見舞金を支給することは、市としての姿勢を表すものであり、必要なものである。しかし、見舞金額については、社会経済等の変化により変更が必要となる。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A:妥当である	理由:	事故の発生は、当然に予測できるものではなく、予算額の設定も過去の事例等により確保することとなる。また、経済性を求められない。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由:	市の施設及び市の主催事業での災害に対してのものであり、代替性はない。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	見舞金を贈呈された際、感謝されており満足を得られると考える。しかし、見舞金の贈呈が事故発生日から相当期間経っているケースもあるため、見舞金の意味合いが薄れることが考えられる。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	災害にあった者に対し見舞金を贈呈することにより、安心して生活できる福祉社会づくりに寄与できる。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 事故発生から見舞金贈呈までの期間短縮を図ることにより、見舞の気持ちがより伝わるのではないかと。</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明: 見舞金額を下げることは難しい。</p>	

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	<p>説明</p> <p>災害を受けた者に対し、速やかに見舞金を贈呈し、見舞の気持ちをより伝える努力が必要。</p>
	今後の進め方	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
<input type="checkbox"/> 見直し		
<input type="checkbox"/> 廃止		
<input type="checkbox"/> 完了		

8 二次評価における変更点

--